

東京龍門会報

発行所
東京都江東区塩浜2-4-20
深川物流センター7階
今村電機株式会社内
電話 03(3699)3791~2
東京龍門会
発行人 今村彬

平成4年度の
総会は5月30日(土)です!!

全国制覇弓道部の
監督と選手の面々
(2頁参照)



衆議院副議長公邸での↑
総会風景



平成4年度の

東京龍門会総会のご案内

陽春の候 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
平成4年度の東京龍門会総会を、左記の通り開催することになりました。

加治木高等学校長並びに新納同窓会々長をお迎えし、皆様と親しく懇談いたしたいと存じますので、多数のご参加をお待ち申しあげます。

なお準備の都合上五月十六日までに同封のハガキにて必ずご回答くださいますようお願いします。

記

日 時 平成4年5月30日(土)

午後1時から自由懇談会
午後1時30分から総会
午後2時30分からパーティ

場 所 衆議院副議長公邸

港区赤坂8-11-40

電話 03(三四二三)〇三一
(地下鉄千代田線・乃木坂駅下車、A3番出入口利用(徒歩約3分)。4頁略図参照。)

会 費 パーティ費 男 子 六千円

女 子 五千円

年会費 二千円

平成四年四月吉日

東京龍門会々長 今村彬

◎住所・職業その他に異動がありましたら、ご面倒でも同封のハガキでご通知ください。

TEL 03(三六九九)三七九一

東京龍門会が

公邸を占拠？

平成3年度の東京龍門会が昨年の5月18日(土)に、いつもの会場であつた三州クラブに替つて、衆議院副議長公邸で開催された。現在衆議院副議長である村山喜一氏(中38回)の肝入りで、日頃めったに縁のない国の機関である公邸で同窓生が集つとあって、例年なく約350名の方々が参加された。郷里から新納教義同窓会々長と川畑文雄学校長が列席され、同窓生諸氏と共に新緑につつまれた広い庭園と、シックなサロンでお互い和気靄靄、後半のパーティでは郷里の焼酎“国分”を片手に、ありし日の想い出話を肴に談笑のひとときを過ごし、会は大いに盛りあがつた。

総会は酒勾昭男副会長(高3回)の開会の辞で始まり、今村彬東京龍門会々長、そして同窓会々長と学長、それに村山喜一氏よりそれぞれ挨拶があり、新納同窓会々長からは同窓会は薩摩の郷中教育を基本とし年令を越えて、お互い話し合う場として、人間形成が培われていくところにその存在意義がある。川畑学

校長からは94年の伝統と歴史に支えられた文武両道といふ校風をもつ母校の近況、勉学体育課外活動面に教職員と生徒が一体となつて頑張つてゐるとの報告が、そして村山氏から参加者の皆さんへ暖かい歓迎の挨拶があつた。

議事の審議に入り平成2年度の事業活動と会計監査報告が、続いて3年度の事業計画案と予算案の説明が窪田幸男副幹事長（高9回）からあり、いづれも満場一致で承認された。

総会への参加をお待ちします

東京今村彬（高2回）

誰も予想しなかつたソ連邦の崩壊は地球上から東西冷戦と言う言葉を消し、その後国家の分裂、民族紛争、国内に於いてはバブル経済の崩壊により出口の見えない不況感と貿易摩擦、疑獄事件等でニュースから目が離せない毎日ですが、皆さんお変わりありませんか。

を衆議院副議長公邸にて開催しました。例年なく盛大で、先生のお蔭と辻秘書官並びに公邸長や事務官の方々に厚く感謝しております。今年もご好意に甘え、公邸にて開催しますれば皆さんのが参加を心からお待ちしております。

第十回全国高校弓道選抜大会が去る3月21、22日の両日にわたり明治神宮至誠館で行われた。母校の男子弓道部が鹿児島県を代表して出場し、高校になつて初優勝の快挙を遂げ、併せて最優秀技能校にも選ばれた。全国制覇は昭和8年、9年（旧制中学時代）の連覇以来58年ぶりの壮挙である。石橋大揮先生（社会科担当）を監督に選手の金氣大輔君（2年・3段始良町池島出身）、小松賢二君（2年・2段始良町西餅田出身）、上村尚史君（2年・3段 加治木町反土出身）の4名が参加された。都道府県代表49校による予選を難なく突破し、16校による決勝トーナメントで、1回戦2回戦と勝ち進み準決勝へと進んだ。準決勝で石川県の七尾工業高校と11対10という接戦には手に汗を握る場面もあったが、1回戦から安定した射で危げなく決勝戦へと進出した。決勝の相手は圧倒的強さで勝ち上がつてきた栃木県の足利工大付属高校である。しかし母校の選手達は、この日の為に日頃一日50射をじつくりと射込み、石川国体の少年近的優勝メンバーの上村君を中心 安定した金氣君、小松君共々順調な仕上がりで臨んだだけに、相手の重圧にも憶することなく実力を存分に發揮して、足利工大付属に10対5の大差をつけ優勝の栄冠を手にした。

母校の弓道部（男子） が全国制覇!!

大会当日には川畑校長も上京され、東京龍門会々長の今村氏はじめ、同窓生の有志大勢が、後輩の活躍に一喜一憂の声援を送り、雲またじりの雨から雪へと変わり、翌日は晴れたとはいえ、かなり寒さの厳しい両日であった。寒さに慣れがない選手達の実力發揮を危ぶむとともに、不撓不屈の加治木魂を全国に見せしめてくれた大会で、今後益々の健闘を期待したい。

同期会だより

還曆同期合

「おらたちも、よいなこで六十の花盛り」想えば勉強したい（？）頃は校舎は丸焼け、そして終戦、粗衣粗食に堪えながら思春期の色気には勝てず、夜話しに出かけたりしているうちに卒業、社会に出てたら高度成長で働け働けで、いやあはや苦労多き時代を生き抜いてきた我が同期生も最晩登場を迎えた。

この節目に全国版の同期会とい
う声多く、平成三年十一月十日か
ら一泊で、日光で開催、宿は名湯
で知られる鬼怒川温泉。地元鹿児

関西、九州から総勢六十一名の盛
会。東京、日光間は往復貸切りバ
スで、往きは鹿児島勢のお土産の
加治木まんじゅうと、ビールで車
内早くもデキ上り、鹿児島弁で卒
業以来の過ぎし回顧や近況などの
話題に咲いた。また卒業以来

味處
誠鏡

お気軽にお立寄
りください!!

台東区浅草橋1-23-4
TEL(3864)1538
JR・地下鉄
浅草橋駅下車

お問い合わせは事務局へ

平成四年度、年会費を
納入された方々には後日
送付致します。

来る五月三〇日(土)に
開催される総会に参加さ
れる方には当日お渡し致
します。

関東地区に在住の同窓生からなる東京龍門会の新しい会員名簿が出来ました。

○●○團碁同好會



初めて会う人たちの間では「おまんざあは、だいさあ、ごわしたつけ」の挨拶。お互いにおつむが白くなったり、薄くなったりしているので無理もないところ。

夕方ホテル到着、温泉で汗とバスの酒気を流し、いよいよ大宴会。今回は女性の参加が男性よりも多く、宴会も艶がある。やっぱり女性は若々しく、美しく元気がよい。孫の話になると更に瞳が輝いてくる翌日はバスで中禅寺湖、東照宮で

は、昔は徳川の殿様
へ入れなか
つたと言う部屋で、全員特別祈願
をあげて頂だき、心洗われた気持
ちで、これから的人生の幸せと健
康と友情をお互いに祈願し、日光
を後にした。

高9期

惜しみながら、平成四年秋、大阪での再会を約束して解散した。

を後にした。

をあけて頂たき、心洗われた気持
ちで、これから的人生の幸せと健

は、昔は徳川の殿様
入なれなか

院2ヶ月、目下自宅にてリハビリ中（接骨院に通院）ですが、気分だけは「チエストユケ」で頑張つてひます。

ますが、これから10年は大変な
険路、この上とも健康に留意し新
世紀を迎えることを願うこの頃です。

たいものである。

二三通信

街で開きました。男性12名、女性11名の計23名が参加しました。毎年一回は同期会を開き、旧交を温めているものの、今回は30数年振りの再会者もあつたりして懐しく昔話にも一段と弾みがつき、名残りの尽きないひとときを過ごしました。

(中・大5卒 秋山邦雄)
○寒い間はコタツの番でした。
これから少しは草花の手入等でき
といいなと思っています。

(中・昭7卒 立山清
○昨年10月代表取締役を辞任
取締役会長に就任しました。
防止の為毎日出勤しています
(中・昭8卒 森正
○小生ボランティア活動に参
ています。級友村山代議士に

けられない状況です

(中・昭20卒 最勝寺幸雄)

○母校商船大学のヨット部強化手伝いのため当分土・日・祭はボンティアです。

(中・昭22卒 岩下 優

○高卒26年組にとって今年は人

ランドに降りる階段に腰を下ろして
いたが、初めに島の西側にムクナ
リと雲の形が噴き、暫くして東側
に同様のものが湧き、次第に拡が
つて島を包んだ。その内噴煙は一
千米に及び石臼を引くような音で
響きわたり、凄い灰が降る中を立
て昇ったのを思いだす。

(中・昭6卒 新納教義)
○昨年八月末から九月上旬にかけて敦煌、酒泉、蘭州、西安、上海等を旅行。中国の漢詩の生れた場所を訪ね玉門関、陽關等の詩を吟じ、当時の返塞の跡を偲んで参りました。

○昨年の9月から再度東京ディズニーランドに来年の9月まで勤務する事になりました。ご利用下さい。
（中・昭17卒 市来明）

出版の予定です。新聞その他に寄稿したものの散逸防止の為に出版したような物です。文字どおりの

○週2・3回の講師の合間に野球や菊づくり、テニスや釣等で余生を楽しんでいます。

○ 東京都文京区の丸山学芸図書KK
から「東と西の谷間から」ヨーロ
ッパの素顔を求めて、という本を

ごしました。卒業後半世紀感激でした。母校の発展を祈ります。

ますが、からの10年は大変な
険路、この上とも健康に留意し新
世紀を迎えていと思うこの頃です。

たいものである
(中・昭14卒 田中正寿)
○平成2年9月同期会の折母校の

○昨年帰鹿の折、高校へ立寄り校庭の樟は加高のシンボルとして益々勢い良く繁り、岩尾校長と職員一同して植えた校庭土手のフェンスが大きく成長し、誠に感無量でした。

○3年12月店頭にて転び骨折し入
(恩師 昭32~48年 伊達スミ)

○79才になりましたがまだ元気で暮らしております。皆様のご健斗をお祈りします。
(高女・昭4卒 武内年枝)

の公邸で東京龍門会の総会の案内を受けるなど夢想だにしなかつた「歴史は二度繰り返す」 「歴史をひもとく者は二度とその過ちを繰り返さない」 政治家とはこの二者択一を常に負うものである。憲法があるという主觀的な先入感が偏見に満ちた主張でなく、客觀性を立脚し地獄家族の平和に貢献する大政治家、大政党への成長を願い

林が鹿谷を駆取し現石の其の事に変わり第2の人生を楽しく過したいと思ってます。

